



4/16(日) 開催

『家庭菜園講座』

初心者向けの講座が開催され、マルチ張りから種まき、植え付けなど行いました。全部で6回の開催となりますが、時期に応じた植え付け、管理など専門家の指導を受けながら、自分で作ったものを自分で収穫していきます。(写真は東山区)

5/9(火) 開催

『脳トレ・健康麻雀』

講師の白井先生のポイントを押さえた分かりやすいご指導で、麻雀を初めて経験する人もすぐにゲームを楽しめました。手を動かし、頭を使って、誰もが安心して楽しく参加できる講座です。



◆内容

- p.18~19 令和5年度 小諸市公民館基本運営方針
 「ぼくとわたしの作品」(小諸東中学校)
 「教えて! あなたのサークル」
 (大杭すみれ会 / こもろウクレレ同好会)
- p.20~21 「みんなの宝物」(与良区 / 滝原区 / 氷区)
 p.22 「今支館・分館では」(耳取分館)ほか
 p.23 【ご案内】6・7月公民館講座ほか



カラー版はこちら

6月は梅雨の季節。祝日もなく憂鬱な気持ちになりがちです。しかし、外に目を向けて、家の田んぼの稲や、畑に植えた野菜が育っているのを見ると、何だか嬉しくなってきました。

親の手伝いの立場だった農作業を、自分達が主になり行うようになって10余年。手伝っていた当時は何気なく聞き流していた作業のコツや時期、天気の見み方などをふと思いつ出すことがあります。

印象に残っているのが、田んぼでの作業中風が強くなって来た時に、義父が言っていた「東風だからこの後天気が悪くなる」という天気にまつわる言い伝えの言葉です。これは気象学的にも立証ができるようですが、農業初心者だった私は、「風の向きで天気が分かる」と感じしたことを今でも覚えています。

今夏の天気はどんなあんなばいでしょうか。天気に恵まれて、農作物が順調に育ちますように。

編集委員 金子 美江



令和5年度 小諸市公民館基本運営方針

学びを通して人づくり・地域づくりを



公民館講座より
「小諸市民大学」

感染拡大から4年目に入り、新型コロナウイルス対策は大きな転換点を迎え「集う」かたちの公民館活動も感染防止対策を徹底しながら戻りつつありますが、まだコロナ禍前のような状況には至っていません。

また、人口減少や少子高齢化が進み、生活様式や価値観の変化等を背景に、地域は様々な課題に直面し、住民自治の担い手不足や連帯感の希薄化が指摘されています。さらに、国際情勢の不安定化と経済の悪化が人々の生活に閉塞感をもたらしています。

公民館は、戦後、荒廃した日本の郷土振興と民主主義の普及を図り、産業や福祉などを含めた総合的な地域づくり

の拠点として誕生しました。小諸でも昭和22年に準備委員会が発足し、翌年公民館活動がスタートしました。それから70余年が経ち社会情勢の著しい変化にコロナ禍も相まって、カルチャーセンター化や利用者の高齢化、固定化と減少も進み、住民の公民館に対する意識や期待も変わってきています。

しかし、どのような社会情勢においても、学びを通して人づくり、地域づくりを進める拠点としての役目を公民館が担っていることに変わりはありません。新型コロナウイルスによる影響と、急激に進む社会情勢の変化に、公民館活動の活性化をもって、まずは途切れてしまった

つながりを取り戻し、コロナ禍前の状況に戻すことができよう、着実に歩みを進める必要があります。

公民館には、地域社会の人間関係を深める重要な役割があり、地域社会の健全な発展のために必要で、そこで行われる多様性のある柔軟な活動は欠かすことができないものです。将来に向け、今公民館に期待されていることや、役割を再認識し、変わらざるに大切にしていかなければならないこと、新しく変えなくてはならないことをよく考え、これからのあり方を探っていくことが求められます。

公民館活動の一層の振興に努め、生涯学習の進展に寄与するため、引き続き「学びを通して人づくり・地域づくり」のテーマのもと、次の3点を令和5年度の運営の柱とします。

- 生活課題・地域課題に関わる学習と実践を支援
- 人々がつながり、生きがいをもって暮らし続けるための学習と実践を支援
- 住民の意識を捉え、期待に応えるために支館・分館との連携・支援を充実

また、以下を重点活動として位置付けます。

- ①他機関・団体等との連携に努め、市内外の多様な方々との協力・協働による取り組みを進める。
- ②青少年向け講座など幅広い年齢層を対象とした事業や住民の主体的な学習に対する支援の充実を図る。
- ③住民の公民館に対する意向を把握し、公民館活動への反映を図る。
- ④支館運営委員会等への参加により、支館・分館の実情を把握し支援の充実を図る。
- ⑤新型コロナウイルス感染症に対応した新しい公民館活動をはじめ、将来を見据えこれからの公民館のあり方について検討を進める。



公民館講座より
「小諸の地層を学ぼう」

教えて！あなたのサークル

「評判の手作り味噌」

大杭すみれ会

山浦 くみい

会員は8名程で主な活動は、味噌づくりとふれあい給食会です。

味噌づくりは、平成17年に豆の栽培から始めましたが、今は購入した豆を使っています。豆を煮て、つぶして、混ぜて、全て手作りです。味噌は味噌部屋のあるお宅に預け、11月ごろ皆で分けま。味の評判も良く、区の皆さんにも希望者にはお分けしています。

年3回のふれあい給食会のうち、1回はお弁当にして30名程の高齢者に配っています。若妻会からスタートした会も、いつまで続くやらと思いつながら頑張っています。





小諸東中学校

『生徒会 始動』

生徒会女子副会長 きたじま なほ 北島 雫帆

私たちは昨年度末、3年ぶりに全校で参集し、3年生を送る会を開催することができました。この会は、生徒会役員での初めての生徒会企画でした。生徒会本部では、生徒会の時間を使ってたくさん話し合いを進めてきました。その結果、各学年の発表を見やすくするために対面式での発表となりました。1年生の発表は、『3月9日』の合唱でした。各パートが奏でるハーモニーで、始まりにふさわしく、会場の空気をあたたかくした素敵な発表でした。2年生は〇×クイズから始まり、合唱の『栄光の

架橋』では3年生への気持ちを伝えることができましたと思います。そして、3年生の合唱『正解』は、最高学年としての集大成が詰まったそんな発表でした。各学年の発表やコロナ禍でなかなか歌うことのできなかつた合唱を通じて、3年生に今までの感謝の気持ちとエールをダイレクトに伝えることができたのではないかと実感しています。

また、生徒会を進めるにあたって、生徒会スローガンを決定するため、全校の皆さんにアンケートの協力をいただきました。1、2年の皆さんには「来年度、どのような生徒会をつくっていきたいですか」という質問に答えてもらい、3年生には「来年度、どのような生徒会をつくってほしいですか」という質問に答えていただきました。今年度は、小諸東中学校創立70周年の節目の年となるので、70周年の節目にふさわしい生徒会とはどのようなものかについての貴重な意見をいただきました。その貴重な意見を生かしながらスローガンに反映させることができました。



そこで考えた、令和5年度の生徒会スローガンは「結翔～全校で未来へはばたく生徒会～」です。



クラス・学年・全校での結びつきを大切にし、伝統を引き継ぎ、未来へつないでいきたいという思いを込めました。また、3年生の思いを引き継ぎ、新1年生を加えた新たなメンバーでより良い生徒会をつくっていきたいと思っています。

今年度は創立70周年の節目の年なので、白梅祭での特別企画や各委員会での活動など「結翔～全校で未来へはばたく生徒会～」のスローガンのもと、全校が一つになって何事にも全力で挑戦することができたら、さらに良い生徒会になると思っています。

地域の方々をはじめ、皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。



「面白く・正しく・気持ちよく」
こもろウクレレ同好会
代表 小林 眞隆
私達は昨年9月に公民館講座より有志で発足し、現在10名の会員で活動しています。20代から70代まで、様々なバックグラウンドを持った会員が集っています。
坂根剛先生のご指導の下、ハワイアンから若い人が知らないような童謡・歌謡曲まで幅広く練習しています。
先生の「面白く・正しく・気持ちよく」をモットーに、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。
アットホームな雰囲気の特徴で、ウクレレを楽しむながら人との繋がりを深めることも目的としています。
練習は毎月第4火曜日13時30分より視聴覚室で行っています。覗いてみてください。

みんなの宝物

「北国街道与良館」



北国街道与良館

は、小諸市提唱の「縁側事業」を実践するコミュニティセンターとして、平成21年に開館しました。「縁側事業」の主な目的には、「県内外より人々をおもてなしする」「区

民同士のふれあいとつながりを増進させる」等が、挙げられています。管理者に指定された当時の与良区長は、与良館運営委員会を組織し、事業を推進しました。以来、志を同じくする人々の参画により、事業は多岐にわたり展開されています。

本年度年間予定表の一部を紹介すると、
◎各種イベントのおもてなし：
俳句大会・日盛俳句祭・盆踊り

◎野岸田んぼ：田植・稲刈・脱穀

◎歌声喫茶・俳句大会開催

◎虚子記念公園清掃

◎花壇整備

「滝原公民館」



滝原公民館

の造りに驚きま訪ねると、その2階に機軸席があるのです。50畳ほどの大広間も、今では珍しい畳敷きです。

この公民館は昭和27（1952）年11月に完成しました。この年の3月に大雪があり公会場が崩壊、急ぎよ再建されました。町村合併で新

小諸町を経て小諸市が誕生したのが昭和29年ですから、まだ大里村だった時代です。区の山林の唐松を売って資金にしたそうです。その時、建築に携わった大工さん（89歳）は、当

時でも珍しい設計だったと言います。多い時で15〜20人の職人が隣りの建物に泊まり込み、「風呂に入りて、村の人々に温かく見守られながらの作業だったそうです。

2階の中央には映写室のなごりの小窓があります。大里支館公民館長の白鳥節夫さん（69歳）は、ここで子どものころ、「銭形平次」や「あゝ無情」、石原裕次郎の映画を観た」と言います。1階から2階まで人でいっぱいになったそうです。昔のように「映画鑑賞会とか、やれるといいなあ」と思いをめぐらせます。

「氷風穴周辺の『植物観察会』」

氷風穴の里保存会 前田 重雄

4月の快晴のな

か、「氷風穴の里保存会」主催による植物観察会があり、市内外から植物に興味のある約50名の皆さんが参加しました。

今年の観察コースは氷風穴駐車場から、氷区に通じる旧道を抜け、現在の生活道路を通り、風穴に戻るルートでした。

講師は自然観察インストラクターの柴平志保子さんと地元会員が務め、2組に分かれて、散策しました。

事前調査により、約60種類の草木の自生が確認されていますが、風穴周辺は年間を通して低温であるため、標高が高い場所でないとい自生出来ない植物が生育しています。貴重な植



ウスバサイシン



アケビの雌花



ヤマエゴサク



イカリソウ

などの多くの事業が企画されています。

事業のひとつ「八平さんの歌声喫茶」を体験しましたので、お誘いがたくさん報告します。60名程の老若男女が、八平さんのギター伴奏に合わせて40曲程を歌い継ぎます。

童謡・唱歌・演歌までジャンルは多様で、館中に混声を響かせます。中間休みには、紅茶と飴をいただきエネルギーを補います。「しばらくだんね。元気がいいかい。変わりないかい。」「今日は〇〇さんが見えないけどどうしたかね。今晚電話してみろわ。」「□々に仲間を気遣う会話が交じり合い、温かい空気に満たされる休み時間でもあります。人々のふれあいとつながりのシーンを見聞きして、コミュニケーションが育っていることを実感しました。次の「歌声喫茶」は7月。71回目を迎えます。ご一緒にませんか。

与良館のボランティアさんも運営委員さんも「スタッフと呼んで」と仰いますので…。35名の与良館スタッフは、各々心を尽くして、皆で力を合わせて、与良館をお預かりしています。

「与良へお出でなっし」
「与良館にお寄りなっし」

編集委員 小宮山 季



映画の巡回上映だけでなく、昭和30年代ころまでは、結婚式や季節保育所としても使われました。ここで結婚式をあげた相場義一さん（88歳）は「照れくさかった」と懐かしみます。その後、青年団や婦人会の活動の場として、区の中心を担ってきました。

老朽化が進み、会議室やキッチン・トイレは、平成20年に改修しましたが、大広間や2階の和室はそのままです。貴重な文化財として残してゆくか、耐震基準を満たす施設へ建て替えるか、区としての判断が迫られる時期も近づいています。



3月には「ふれあい給食会」で、信州中村一座による公演「遠州森の石松」がおこなわれました。標高778mの高台に建つ公民館の窓からは、小諸の市街地や、蓼科山・八ヶ岳、佐久平が一望でき、遠くには富士山が見えます。地域に誇れる、訪れてほしい公民館です。

編集委員 岡村 博文

物であるシノアキギリ、オヒヨウ、ハヤザキヒヨウタンボクなどを見ることが出来ます。今年は何年と比べ早く暖かくなったため、花が散り既に実になっていたものもありました。

参加者は講師の話聞き、写真を撮ったり、配布資料にメモを取ったり、持参したミニ図鑑で確認しながら、他の参加者に教える等熱心に観察をしていました。

林を抜け、展望が開けたところには、昨年からアサギマダラの飛来が確認できていたフジバカマの芽が少し顔を出していました。この場所は、特に浅間連峰が一望でき、この日は雲一つない青空だったこともあって、初めての参加者には「素晴らしい眺めだ」と喜んでいただきました。

早春の爽やかな風を感じつつ、大勢の皆さんで楽しく散策しました。また、今回は行きませんでした。布引林道を行くとカタクリの群生が見られます。

少し話がそれますが、氷区では氷式土器と呼ばれる土器が発見され、縄文晩期の標式土器となっています。風穴周辺は、春ばかりでなく、通年で楽しめますので、皆さんぜひ氷区へお出かけください。





「美里少年剣道クラブ」
— 耳取分館 —

第51回美里少年剣道クラブ錬成大会が3月12日(日)耳取公民館で開催されました。区役員の皆さんや来賓の方々、剣道クラブ剣士の保護者の皆さんが観戦していました。

大会関係者の挨拶や小学生剣士の選手宣誓があり、試合の前に指導者の山浦義晴さんと高橋達也さんによる演武も披露されました。

剣士は保育園児1名、小学生4名、高校生・大学生4名の総勢9名です。保育園児はまだ試合に出場できませんので、今大会は試合のお手伝いで剣士

の呼び出し役です。小学生になれば防具をつけて試合に出場できます。

最初の試合は小学生4名の総当りです。どの対戦も勝敗がつくまで延長戦を繰り返す熱戦でした。防具を着けた剣道は運動量も多く、気迫勝る剣士に軍配がありました。

礼に始まり礼に終わる、少年剣士達の立ち居振る舞いは見事でした。次は高校生・大学生4名の総当り戦でした。小学生から10年以上の鍛錬を積み重ねてきています。竹刀が当たる音や張り上げる声は迫力があり試合の緊張感で道場の空気を変えていきます。

大会終了後、山浦義晴さんは、「コロナが収束してきたら3年間でできなかった稽古を取り返したい」と抱負を語っていました。

美里少年剣道クラブでは部員を募集中です。稽古日は、毎週水曜日午後6時30分〜8時、日曜日・午後5時〜7時です。ぜひ見学にお出かけください。



編集委員 大矢 文字

俳句の林間学校 「第15回こもろ日盛俳句祭」

- 日 程 7/28(金)～30(日)【主会場・シンポジウム】ベルウィンこもろ【講演会】市民交流センター ステラホール
- 内 容 吟行【午前】…市内・郊外・高峰高原
句会【午後】…ベルウィンこもろ・高峰高原・市民交流センター・ほんまち町屋館・海應院
虚子記念館・与良館俳小屋・小諸高原美術館
シンポジウム 7/28(金) 16:00～ テーマ「コロナ禍の俳句」
講演会 7/29(土) 16:00～ 講師：筑紫磐井氏 演題「虚子と季節」
- 参加費 一人1日券2,500円(当日申込みは3,000円)※高峰高原吟行句会は別途3,000円(昼食・バス代)
- 申込締切 7/10(月)(必着厳守)※高峰高原吟行句会は5/31(水)
- 問合・申込先 小諸高濱虚子記念館 ☎0267-26-3010 ※水曜定休(祝日の場合は翌日)

第44回 「小山敬三美術館友の会 着衣人物写生会」

- 日時 第1日目 6/4(日) 受付開始8:40～(16:00頃終了)
第2日目 6/25(日) 受付開始8:40～(16:30頃終了)
- 会場 小諸市文化センター 第一講義室、軽運動室
- 指導者 白鳥 純司
- 持ち物 イーゼル、画材用具一式、昼食(飲み物は用意してあります。)
- 問合先 小山敬三美術館 0267-22-3428



第3回 人権同和教育研修講座

すべての拉致被害者の早期帰国を目指して

拉致被害者御家族メッセージ+アニメ上映会



日 時

令和5年6月22日(木)

開演 19:00 ~ 20:30 (開場 18:15)

場 所

小諸市文化センター 文化会館ホール

プログラム

- 主催者あいさつ
- 政府拉致問題対策本部 拉致問題の概要説明
- アニメ「めぐみ」上映
- 「拉致被害者御家族ビデオメッセージ」放映

入 場 料

無料(事前申込不要)

主 催

拉致問題対策本部、長野県、小諸市

お問い合わせ 長野県企画振興部国際交流課
TEL: 026-235-7188 / FAX: 026-232-1644

6・7月 公民館講座 ご案内

〒小諸市文化センター ☎ 0267-23-8880



スマホ講座

スマホでアプリを使ってみよう
～便利で役立つアプリをご紹介～

講師：こもろ情報ひろば

◇日 時 6/23(金) 9:30 ~ 11:30

◇場 所 第一講義室

◇定 員 16名 ◇費 用 200円(当日徴収)

◇申 込 5/31(水)~6/9(金)



こもろ女性の家 ジャイロキネシス

～体が楽になるストレッチ体操～

講師：ジャイロキネシス認定トレーナー 鈴木絵美

◇日 時 7/5、7/12(水) 13:30 ~ 15:30

◇場 所 軽運動室

◇定 員 10名

◇費 用 無料

◇申 込 6/6(火)~16(金)



こもろ女性の家 ウクレレ教室

～初心者のためのウクレレ教室～

講師：ウクレレプレイヤー 坂根 剛

◇日 時 7/19、8/23、9/27(水) 13:30 ~ 15:30

◇場 所 第一講義室

◇定 員 20名

◇費 用 無料

◇申 込 6/19(月)~29(木)



各施設の予約開始日

施設名	利用月	予約開始日
公民館・こもろ女性の家 (貸出備品含む)	R 5 / 8	R 5 / 6 / 1(木)
乙女湖体育館	R 5 / 12	
文化会館	R 6 / 6	